

日本遺産認定継続キックオフイベント宣言

行田市は、古代から繁栄した歴史文化都市であります。

古墳時代には国特別史跡の埼玉古墳群が築造され、中世には県指定旧跡の忍城が築かれ、近世では忍藩十万石の城下町として栄えました。そしてその城下町で始まった足袋づくりが、近代には日本一の生産量を誇る足袋産業へと発展し、今日の行田市の礎を築きました。

今も中心市街地に残る日本遺産の足袋蔵等は、市民の誇りです。

現在、本市では足袋蔵等をはじめとした構成文化財を地域全体で整備・活用し、足袋蔵が飲食店、足袋工場がアーティストシェア工房となるなど、日本遺産を核とした地域の活性化が図られております。

今後も、この流れを推進し、「新しい行田」をつくり上げていくことが重要です。

「日本遺産・足袋蔵等を活かして新しい行田をつくる」

そのためにも、市全体が一丸となって、「日本遺産の認定継続」を勝ち取っていかうではありませんか。

私たちは、これからも市民をはじめ、市域の企業・機関・団体とともに、「日本遺産による地域の活性化」に取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和7年5月21日

行田市日本遺産認定継続キックオフイベント